

鉄骨工事 Q&A	溶融亜鉛めっき	低光沢処理	制定	2016年7月1日
			改訂	2016年7月1日

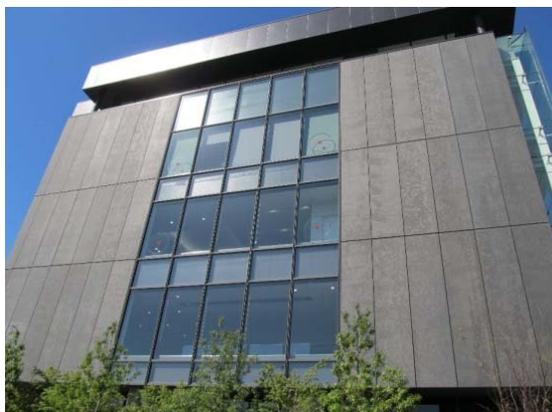
Q. 溶融亜鉛めっき初期の金属光沢をなくすことは可能か？

A.

溶融亜鉛めっき後に表面に化成処理を施し、めっき表面に低光沢の皮膜を形成することで、光沢を抑えることができます。この主な方法として「りん酸亜鉛処理」があります。

溶融亜鉛めっき初期の金属光沢は、周りの環境と調和しない場合や近隣の住民から眩しいと苦情がでる場合があります、この処理をすることで光沢を抑え、灰色の落ち着いた外観となります。また、将来的にも光沢のある外観となることはありません。

溶融亜鉛めっき層への影響はごくわずかで、溶融亜鉛めっきとしての防食効果は低下しません。ただし、このりん酸亜鉛処理は、処理槽に浸漬する必要があるため、処理が可能なサイズや重量を事前に4者間(設計者、施工者、鉄骨製作会社、めっき会社)で協議することを推奨します。



りん酸亜鉛処理施工例 1



りん酸亜鉛処理施工例 2



りん酸亜鉛処理施工例 3